

児童氏名	A	学年	2年	入級日	年 月 日	担当者氏名	
指導方針	指導時間						
<p>◎余分な刺激を取り除き、情報量を調節し、注意を喚起すること等により、集中しやすい状況をつくる。</p> <p>◎指示は一つずつ、簡潔に。理解できたかを確認してから活動に移るようにし、見通しを持って意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>◎作業量を軽減し、学習活動に取り組みやすくする。</p> <p>◎活動に対する行動目標を立て、できている状態をほめることにより、自尊感情を高めながら、落ち着いた行動がとれるようにする。</p> <p>◎学級の役に立つ仕事の遂行等を通じて、自尊感情を高められるようにする。</p>							
長期目標				通常の学級・家庭での配慮			
生活	<p>①使った物を所定の場所にしまうことができる。</p> <p>②リストに記入された物を忘れずに準備することができる。</p>			<p>・きれいに整頓された状態の、写真や絵カードを提示する。</p> <p>・持ち物リスト等の確認を支援する。</p>			
学習	<p>③話し手の方に視線を向けて、注意して聞くことができる。</p> <p>④1年の漢字が書け、2年までの漢字が読める。</p> <p>⑤苦手とする教科でも、学習活動に参加し、課題に取り組む。</p>			<p>・名前を呼んで、注意が向いてから話す。</p> <p>・漢字の書き方は、言語化して示す。</p> <p>・活動の順序を示し、一つ一つの活動に対し、その都度評価する。</p> <p>・作業量を減らし、負担を軽減する。</p>			
行動・情緒	<p>⑥予定の時刻になったら、活動を切り替えることができる。</p> <p>⑦納得できなかつたり、苛立ってきたりしたら、教師に伝える。</p>			<p>・切り替えにくさが予想される活動は、事前に約束し、掲示し、予告する。</p> <p>・成功体験も含めて、振り返りの話し合いをする。</p> <p>・失敗体験に関しては、どうすれば良かったかを、具体的に教示する。</p>			
社会性・対人関係	<p>⑧友だちに対して、適切なコミュニケーションをとることができる。</p>			<p>・学級全体で、学活や道徳の時間を使い、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、そのスキルを行動目標とする。</p> <p>・休み時間毎に、友だちとのかかわり方に関する行動目標を与え、その都度振り返りをする。</p>			
自己理解	<p>⑨自分の気持ちの変化に気づくことができる。</p>						
長期目標との関連	短期目標	手だて 無印：共通 (通)：通級指導教室 (在)：在籍学級				評価	
①	・声をかけられたら、使った物を所定の場所にしまうことができる。	・使った物を片づける時間を確保する。 ・片づける場所に品物のマークを付ける。					
④	・2年までの漢字が読める。 ・1年の漢字が書ける。	・似ている漢字から、正しい漢字を選ぶ練習をする。 ・漢字の1画毎を言語化したり（縦、横、かぎ、はね等）、既習の漢字や文字を使ったりして、漢字のつくりや書き方を教示する。 ・書き順が間違っている場合、形が正しいことを評価する。 ・ドリル的な学習は、作業量を減らす。					
⑤	・学習に必要なことを、プリントやノートに書き込む。	・ワークシートを利用し、書くための作業量を減らす。 ・板書を写すときは、書くべきところに印を付けたり、近くに板書のお手本を提示したり、ゆっくり読み上げたりする。 ・活動に参加しているときは、頻繁にほめる。					
⑦	・苛立ったときに、冷静になるための行為をとることができる。	・苛立ちやすい場面になる前に、あらかじめ冷静になるための対処方法を伝え、先生に言う、深呼吸をする、水を飲む、顔を洗う等冷静になるための行為をしやすくする。 ・必要に応じ、冷静になるための行為を促す。					
⑧	・休み時間毎に、友だちとのかかわりについて自己評価することができる。	・休み時間が始まる前に、行動目標を確認し、なかよく遊べたときには、シールを与える。（トークンエコノミー法）					